



所在地 〒552-0023 港区港晴1丁目3番12号

TEL 06-6574-6636

FAX 06-6574-9159

校長名 前木場 篤(まえこば あつし)



## 学校の紹介・校長メッセージ

本校は、昭和36年4月に開校し、令和2年に創立60周年を迎えました。以下を教育目標とし、日々教育活動に取り組んでいます。学校教育は、保護者、地域、学校の三者が協力しなければ健全な育成ができないと考えています。「学校が楽しい」といえる子どもを育成するために様々な実践を進めますのでご協力をお願いいたします。

### 学校教育目標

豊かな人間性を育み、  
明るく楽しくたくましく生きぬく子どもを育てる

### 校訓

明るく 楽しく たくましく

### めざす学校像

- 子どもからは「行きたい学校」
- 保護者からは「通わせたい学校」
- 地域住民からは「誇りに思える学校」



### 学校名の由来

港が晴れると、元気になる。だから港晴。昭和36年4月1日、八幡屋小学校より独立。この地域は大阪湾に近く潜水業や、あなご業が盛んで港湾関係に従事している人が多かった。「港が晴れると仕事にも恵まれ、町も学校も明るく元気になる」というこの町の住民の願いがこめられている。

## 運営に関する計画

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

#### 【学校の年度目標】

- 校内児童アンケート「学校が楽しいですか」の項目の肯定的な回答の割合を85%以上にする。
- 年度末の保護者アンケート「災害が起こったときに、どうすればよいか家族で話し合っていますか。」の項目の肯定的な回答の割合を85%以上にする。

#### 【全市共通目標】

- 学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を88%以上にする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 【学校の年度目標】

- 校内児童アンケート「学習がわかりますか」の項目において、肯定的な回答の割合90%以上を維持できるようにする。
- 校内児童アンケート「運動や遊びを進んでしていますか」の項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。

#### 【全市共通目標】

- 学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- 学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、合計得点が男女ともに大阪市平均を上回るようにする。

### ●令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

大阪市教育委員会では、調査学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表しない。

本校では、国語科、算数科共に全国平均を下回っている。正答数の分布では、正答数の多い児童の割合が正答数の低い児童の割合より若干少ない。経年変化を見ると、平成29年度まで上昇傾向にあった正答率の対全国比が平成30年度よりやや下降傾向に転じ、令和元年度は平成30年度を下回る結果となった。無解答率に関しても、平成30年度まで全国平均と大きな差はなかったが、令和元年度は少しポイントが高くなっており粘り強く学習に向き合う姿勢に課題が見られる。平成30年度より、「書く」「読む」力の育成を目指して、国語科を研究教科として取り組みを行っており、その成果は少しずつだが現れてきている。

「自分には、よいところがあると思いますか」など、自己肯定感や自己有用感に関する項目については、少し低い結果となったため、様々な体験活動や協働学習に取り組んでいる。成果が少しずつ現れてきているものの今後も内容の精選や改善が必要である。教科に関しては、国語科、算数科共に、工夫をして取り組んだり、様々な方法を試してみたりすることについて、肯定的な回答が全国と比べ低く、それが無解答率にもつながっている。基礎基本的な内容の充実とともに、活用・表現の技能の向上を目指していく。

### ●令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

項目	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	18.27	19.55	33.91	41.64	50.86	8.95	141.32	23.26	54.62
女子	20.25	20.13	42.00	42.13	45.88	8.86	141.00	15.13	61.50

- トップアスリートを招いての「ラグビー教室」、大阪プールでの「港区水泳記録会」参加、大阪市中央体育館での「車椅子バスケットボール観戦」などを通して、体力向上への意欲を高めている。休み時間には、「耐寒なわとび」を設け、全校児童で意欲的に取り組むことができた。
- 平成30年度課題のあった柔軟性を高めるために、それぞれの学年に応じて体育科の授業で取り組みを行った。また、校内の様々な遊具の活用や多様な運動を取り入れるために、チャレンジカードを作成し、児童一人一人が目標を設定し活動を続けてきた。
- アンケート結果から、男女ともに運動に対する意識は全国平均と比較しても大差はないが、自分の体力に自信の無い児童が特に女子に多い。今後も、体験や観戦を充実させ、運動やスポーツに対する興味・関心を高めるとともに、体育の授業等で達成感や充実感を得ることのできる取り組みを行っていく。
- 跳躍能力（瞬発力）の項目については、男女共に全国平均を大きく下回る結果となった。今後、「力強さ」や「タイミングの良さ」を高める運動を取り入れた指導の工夫を行うなど、体育の授業内容を見直して取り組んだり、チャレンジカードの内容や取り組み方の工夫を行ったりして、本校児童の体力向上を目指す。

## 学校の様子

ほかにもたくさんの行事や活動があります。



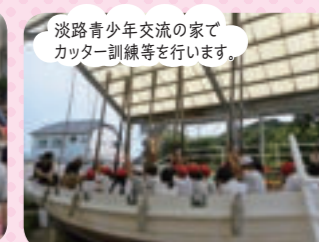
春の遠足3・4年



春の遠足5・6年



防災訓練



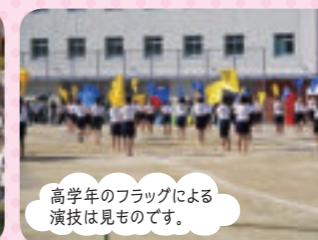
自然体験教室5年



着衣水泳5・6年



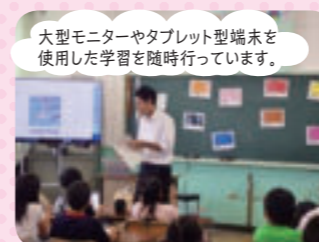
修学旅行6年



運動会



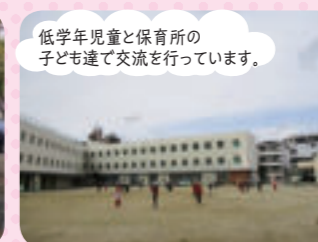
音楽鑑賞会



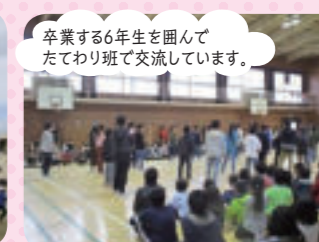
ICT教育



秋みつけ1年



保小連携



卒業を祝う会